

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-79090(P2012-79090A)

【公開日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-016

【出願番号】特願2010-223705(P2010-223705)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0482 (2013.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

G 11 B 27/34 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 5 4 B

G 11 B 20/10 E

G 11 B 27/34 S

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月20日(2013.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

インタラクティブグラフィックスプレーン12で用いられる画像データがPNG形式である場合には、画像データ中に、画素毎に不透明度データ2(0 2 1)を設定することができる。不透明度データ2は、乗算器27に供給される。乗算器27では、RG B/Y C b C r変換回路26Bから入力されたY C b C rデータに対し、輝度信号Y、色差信号C b、C rのそれぞれについて、不透明度データ2との乗算が行われる。乗算器27による乗算結果が加算器28の一方の入力端に入力される。また、不透明度データ2の補数(1 - 2)が乗算器25に供給される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

なお、以下では、フラグauto_action_flagにより、選択状態となったときに、割り当てられた機能が自動的に実行されるように定義されたボタンを、オートアクションボタンと呼ぶ。